学校便り　4月号

かけはし

学校 HP　学校ﾌﾞﾛｸﾞ

薩摩川内市立里小学校　薩摩川内市里町里 1601　TEL 09969-3-2008

発　行　令和７年４月 21 日　責任者　校長　永野 俊也

里周辺海水温 20 ℃(4/12)

最高のえがおのために

インクルーシブ教育を柱とする学校へ

校長　永野 俊也

創立１５４年目を迎えた里小学校は、1,2年生が単式学級に戻ったことと、特別支援学級（すまいる学級）が開設されたことにより、昨年度より２学級増えました。そして、新たに４名の先生方を迎え全児童３３名のスタートとなります。

今月は、15日の全校朝会の話題から話を広げてみたいと思います。この日は２つの視点で話をしました。一つ目は、次のように話した内容からです。「始業式の日に、『学校の真ん中に**すまいる学級**が新たに置かれました。幼稚園では、みんな一緒に過ごしていましたが、小学校では学年ごとに分かれるので、すまいる学級にいると寂しく感じるかもしれません。ぜひ、すまいる学級に遊びに行って、みんなでかかわりを持ってくださいね。』と話をし、２週目にはいりました。みんな、ありがとう！とってもいいスタートができています。支援が必要な友達も、みんなと同じ場所で一緒に勉強することを、難しい言葉で **いんくるーしぶ** って言うんですよ。」

インクルーシブの元々の意味は、「包む」というように訳されます。そこから、**障害の有無にかかわらず、全ての子供がともに学ぶ仕組み**を指すようになりました。ケースにもよりますが、この考えが浸透せず分離型の教育に偏ってしまうと、子供たちの貴重な人生経験や人間関係、社会経験の機会を奪うことになってしまいます。多様な子供たちがともに学ぶことで互いを尊重し、支え合う心が育まれます。差別や偏見、排斥や分断といった社会とは無縁の世界に社会全体が育つ。そういう可能性をもつものだと思います。

ただ、インクルーシブ教育は、多くの条件整備を必要とします。その条件を満たせなければ、互いにストレスをかかえたり、負担が偏ったりしてしまいます。また多くの専門知識を必要としますから、教育現場で広く展開することを難しくしています。里幼稚園では先生方がまず、夏休み預かり保育を担当しつつ自ら大学に通い、特別支援教育に関する多くの資格を取得し、対応能力を高めてくれました。私も２年前から、串木野特別支援学校に通い、すまいる学級の開設準備を進めてきました。そしてなによりも里の子供たちは、小中学生が幼稚園生と一緒に遊んでくれて、よその家の子でも自分の兄弟のように接してくれます。地域の方々もとても温かい眼差しで見つめ、声かけをしてくださいます。インクルーシブ教育を学校の中心に据えた経営ができる。そういう環境は十分にある。そう思いました。

私自身、幼年期に発語障害を持っており、小学校２年生の時に、当時できたばかりの**ことばの教室**がある大きな小学校へ、毎週１時間、１年間通級した経験があります。甑島という地理的ハンディーは、そういう当時からある支援であっても受けることを難しくしています。ただ現在行政は、国や県の支援事業を活用し、甑島にも様々な支援態勢を整えようと動き始めています。未来の甑島の子供たちが、誰一人取り残されることなく、笑顔でいられるために、まずは里小学校から、そして次は新しくできる統合幼稚園に、様々なネットワークを活用した支援のシステムを組み立て、そして甑島全島へ広げられたらと考えています。そういう仕事もきちんとやりなさい。とそういうことで、私は予定より１年長く留めていただいた？のかな？とも思います。どうか令和７年度もよろしくお願いいたします。

＊もう一つの視点、平和集会については、裏面をご参照ください。

入学おめでとうございます！

今年度は、６名の新入生を迎えての入学式が行われました。

来賓をお迎えしての賑やかな入学式となりました。歓迎の気持ちをこめて在校生が「ドキドキドン1年生」をみんなで歌いました。新1年生のかわいらしい姿が、とっても輝いていました。地域のみなさまも子供たちの健やかな成長を、見守っていただけたらと思います。

【令和7年度教職員】

校　　長	永野　俊也
教　　頭	森山　慎一
1年担任	鳥越　美香
2年担任	前野　孝一郎
3･4年担任	吉見　しほり
5･6年担任	中原　純人
すまいる	中川　歩
養護教諭	岩﨑　和泉
栄養教諭	太田　結子
事務職員	髙橋　健太郎
学校主事	小川　隆薫
学校司書	石原　美姫
校務支援員	野島　秋彦

【児童数】

1年6名　2年5名
3年3名　4年9名
5年3名　6年7名
合計33名

5月行事

1日(木)	先生と語ろう週間(～15日)
8日(木)	交通教室
	委員会活動
	生活リズム週間(～14日)
10日(土)	土曜授業
	スケッチ大会
	里幼小中PTA歓迎会
13日(火)	平和集会
14日(水)	中期ふるコミュ交流会
	歯科検診
16日(金)	一日遠足
18日(日)	耳鼻科検診
19日(月)	給食週間(～23日)
20日(火)	原子力避難訓練
21日(水)	体力テスト･クラブ活動
22日(木)	授業参観(5･6校時)
25日(日)	耳鼻科検診予備日
28日(水)	市小学校綱引競技大会

スクールカウンセラー

今年度もスクールカウンセラーの松尾治子先生の訪問が計画されています。1回目は5月14(水)です。年間で6回計画されています。正式には改めて案内いたしますので、どうぞご活用ください。

大型連休です

大型連休がやってきます。それぞれのご家庭で計画を立てていることと思います。毎年、この時期になると小学生の事故や事件が増える傾向にあります。島内、島外問わず連休中は交通事故や海難事故等に十分気をつけて楽しんでください。また、熱中症にもご注意ください。

今月の付録
甑島の未来に 思いを巡らせて　～ 甑島の歴史と文化から学んだ魅力 ～

令和７年３月１８日 講演会より　（その１）

この付録は、２月号を最終回としてまとめましたが、もう１年、里小学校へ残ることができました。これというのも日頃から温かい声をかけていただいている地域のみな様のおかげだと感謝しています。ありがとうございます。

さて、今月号は私がもう最後の年であろうと、コミュ協が企画してくださった講演会で中心となったテーマを取り上げたいと思います（当日は、ドジャース日本開幕戦と重なったにもかかわらず、多くの方にご来場いただきました。感謝申し上げます）。その内容は、創立150周年記念誌や、その補遺として今まで書いてきた付録をまとめ、甑島の未来に思いを巡らすというものです。そして、最初に取り上げた話題が、想定よりも長くなり講演の半分を占めました。そして15日の全校朝会で子供たちに話したもう一つの内容となります。

１　平和への願い　里から発信する平和への祈り　～ 尊い犠牲による足止めがなければ、里村は大変なことになっていた･･･　～　より

- 硫黄島や沖縄など本土上陸作戦を遅らせるため、簡単に降伏せず徹底抗戦を貫いた。その足止めがなく本土上陸作戦が決行されていれば、まず真っ先に甑島と種子島が攻撃されることになっていた。今子供たちまで命がつながっていることは、それらの方々の尊い命が救ってくれていた。

- 本土上陸作戦に備え、日本本土域では甑島、種子島、屋久島の３島だけが**強制的に学童疎開**（小２～小６まで）が行われた。里の子供たちを受け入れた山崎村（現在のさつま町）では、自分たちの食料もない中、僅かな米を出し合い受け入れてくれた。ただそれでも食糧難の中で、徐々に体力を奪われた抵抗力の弱い里小２年生、西薗六夫さん、本 有さん、角 力さんの３名が伝染病にかかり亡くなってしまった。

- 「島に残っていても、上陸作戦が始まれば死ぬ。そうであれば死ぬ前に一目我が子に会いたい…」そう願い、江石集落の一部親たちが三艘の船に乗り、終戦寸前の８月11日深夜川内へ向かった。その途中で浮上していた米潜水艦に発見され、機銃掃射を受け９名の方が亡くなってしまった。

【里国民学校学童疎開記念の碑】

親も子も大変な時代であったと、史実に基づきながらこれらの話を進めました。150周年記念誌を執筆中の令和４年11月には、沖縄の平和記念公園、平和の礎 を訪れ深く頭を下げてきました。また、学童疎開の縁により、宮之城町と里村は姉妹町村の盟約を結び、記念碑を建立したと文献に記載はありました。ただその場所を示すものや、写真は残っておらず、市町村合併が進んだ現在では、それらの記憶が失われてしまう。と思い、記念碑を探しにさつま町へ出かけ、写真を撮って来ました（左写真、さつま町立山崎小学校前の地頭仮屋跡の敷地内にあります）。 全校集会では、これらの話と、創立百周年記念の時に体育館と校舎の間に立てられたもの。何の形をしていて、どういうものだと思う？　とトンボロ地形をかたどった **亡師亡友追思之碑**　の意味を伝えました。

そしてもう一つ、里村時代は毎年４月１日に、一の段、戦没者慰霊の搭の前で慰霊祭が行われていましたが、市町村合併を機に行われなくなりました。戊辰の役から大東亜戦争まで、里村で出征され亡くなられた196名の方の名が刻まれており、それを初めて見た時、その戦争の歴史に衝撃を受けたのを覚えています。そこにあるのは、里によくある姓で、多くが子供たちにとっても親類となるはずです。誰もお参りしなくなるのは寂しい…と思い、令和４年度より里小で **平和集会** という形で黙祷を捧げるようになり、昨年度はボランティアの協力を得て、刻まれた名前に白の塗料を入れて建立当初の姿となりました。戦後80年間、その後この銘板へ名前が刻まれることはありません。これからの未来もそうありますように。

これで、講演会のほぼ前半が終了となりました。次号では、後半の甑島の歴史と文化から、未来に向けてどのような **まとめ** をしたのかについて記載したいと思います。

よろしければお付き合いください。　　［ つづく ］

【平和集会 で　黙祷を捧げる子供たち】

【 お知らせ 】

令和７年度 平和集会を、里コミュ協のご協力のもと下記の通り開催いたします。短い時間ですが、もしよろしければ、地域のみなさまも子供たちと一緒に黙祷を捧げにいらっしゃいませんか。お待ちしております。

記

１　日　時　　５月１３日（火）　１３：３０ ～ １３：４５
（雨天時は、15（木）の同じ時間へ延期します）

２　場　所　　一の段　戦没者慰霊の搭 前